

JIS L 1902 繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果

この規格は、不織布を含む全ての抗菌性繊維製品の抗菌活性を評価する試験方法、抗菌効果について規定したものです。ここでは、定量試験についてご案内します。

試験概要

- ・ 試験菌：黄色ぶどう球菌，肺炎かん菌（試験が成立する場合，他の菌種も使用できると規定されています。）
- ・ 菌液：1/20 ニュートリエント培地で調製（ 10^5 /mL）
- ・ 試料：検体 0.4 g [試験試料（抗菌加工）及び対照試料（無加工）] を高圧蒸気滅菌して使用
- ・ 菌液の接種：バイアル瓶に入れた試料に菌液を接種後，バイアル瓶のキャップを閉める
- ・ 試料の培養：菌液を接種した試料を 37 °C，18～24 時間培養
- ・ 生菌数測定：菌液接種直後及び 18～24 時間培養後の試料 3 個（n=3）の生菌数を測定
- ・ 抗菌活性値（A）= $(\log C_t - \log C_0) - (\log T_t - \log T_0)$

$\log C_t$ ：18～24 時間培養後の対照試料 3 個の生菌数の算術平均の常用対数

$\log C_0$ ：接種直後の対照試料 3 個の生菌数の算術平均の常用対数

$\log T_t$ ：18～24 時間培養後の試験試料 3 個の生菌数の算術平均の常用対数

$\log T_0$ ：接種直後の試験試料 3 個の生菌数の算術平均の常用対数

価格（税別）

試験条件を変更することにより，料金は異なります。詳細についてはお問い合わせください。

対照試料（無加工）もご提供いただく場合は，検体数に含めます。

菌種数	検体数	試験料金
1 菌種	1 検体	54,000 円
	2 検体	70,000 円
2 菌種	1 検体	94,000 円
	2 検体	126,000 円

検体必要量（1 菌種当たり）

- ・ 試験試料（抗菌加工）：5 g 以上
- ・ 対照試料（無加工）^注：5 g 以上

注：対照試料（無加工）が用意できない場合，綿布（弊財団で用意）を代用することも可能です。

納期（目安）

1～1.5 箇月

依頼状況や長期祝日の影響で変動する場合がございますので，ご依頼のタイミングで改めてご確認ください。